

厚生常任委員会資料 (当初)

令和 8 年 3 月 1 1 日
病院局

1 予算議案

○議案第20号

「令和8年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要 . . . 4 - 18

1 予算議案

【議案第20号】

「令和8年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要

経営管理課

(1) 予算案の概要

物価高騰など経営環境の悪化に対応するため、「宮崎県病院事業経営計画2021(令和6年3月改定)」に基づく、経営改革を加速するとともに、救急医療や高度・急性期医療など、県民に高度で良質な医療を安定的に提供するための予算案

(2) 予算案のポイント

① **予算規模（支出合計）** 58,588,973千円(対前年度+3,006,001千円)

※ 病院事業費用(5ページ)と資本的支出(7ページ)の合計

② 主な新規・重点事業

・**新** 県立病院DX推進事業 86,517千円

・**新** 日南市内の公立病院のあり方検討事業 49,106千円

③ **病院事業債（経営改善推進事業）を活用した資金調達** 1,100,000千円

⇒ 令和7年度～令和9年度の時限措置、償還期間15年(うち据置3年)、資金手当

(3) 業務の予定量

① **許可病床数** 1,130床

② **年間患者数** (単位：人)

区 分	令和8年度当初予算案	
	年間患者数	一日平均患者数
入 院	322,139	883
外 来	372,492	1,546

1 予算議案

(4) 収益的収支（事業合計）

収支差は**33億3,930万円余の赤字**

- ・ 給与費は、令和7年給与改定により + 821,537千円(+3.9%)
- ・ 材料費は、物価高騰や外来化学療法の増加等により + 1,252,573千円(+9.2%)
- ・ 経費は、賃金上昇や物価高騰等により + 285,531千円(+3.8%)

(単位：千円)

区 分	令和8年度当初予算案	令和7年度当初予算	増 減
病院事業収益	46,979,418	45,220,774	1,758,644
医業収益	40,033,777	37,943,880	2,089,897
入院収益	27,640,264	26,780,534	859,730
外来収益	11,226,791	10,135,036	1,091,755
一般会計繰入金	685,495	601,973	83,522
その他	481,227	426,337	54,890
医業外収益	6,945,641	7,276,894	▲331,253
一般会計繰入金	3,927,319	4,601,353	▲674,034
長期前受金戻入	2,777,387	2,440,926	336,461
その他	240,935	234,615	6,320
特別利益	0	0	0
病院事業費用	50,318,726	47,793,977	2,524,749
医業費用	49,585,745	47,149,173	2,436,572
給与費	21,725,579	20,904,042	821,537
材料費	14,840,202	13,587,629	1,252,573
経費	7,858,871	7,573,340	285,531
減価償却費	4,836,674	4,770,524	66,150
その他	324,419	313,638	10,781
医業外費用	729,981	641,804	88,177
特別損失	0	0	0
予備費	3,000	3,000	0
収支差	▲3,339,308	▲2,573,203	▲766,105

※ 端数処理の関係で、内訳と合計が一致しない場合がある（以下同じ）。

1 予算議案

(5) 病院別収益の収支

(単位：百万円)

区 分	宮崎病院			延岡病院			日南病院		
	令和8年度 当初予算案	令和7年度 当初予算	増減	令和8年度 当初予算案	令和7年度 当初予算	増減	令和8年度 当初予算案	令和7年度 当初予算	増減
病院事業収益	22,701	22,139	562	17,503	16,094	1,409	6,775	6,987	▲212
入院収益	12,429	12,576	▲147	11,189	10,067	1,122	4,022	4,138	▲116
外来収益	5,955	5,474	481	3,870	3,316	554	1,402	1,345	57
一般会計繰入金	2,371	2,666	▲295	1,473	1,682	▲209	769	855	▲86
その他	1,946	1,423	523	971	1,029	▲58	582	649	▲67
病院事業費用	24,186	23,175	1,011	17,987	16,371	1,616	8,146	8,247	▲101
給与費	10,102	9,752	350	7,512	6,986	526	4,112	4,167	▲55
材料費	7,335	6,979	356	6,045	5,159	886	1,460	1,449	11
経費	3,450	3,335	115	2,786	2,628	158	1,623	1,610	13
その他	3,299	3,109	190	1,644	1,598	46	951	1,021	▲70
収支差	▲1,485	▲1,036	▲449	▲483	▲277	▲206	▲1,371	▲1,260	▲111

1 予算議案

(6) 資本的収支

収支差は**25億 362万円余の赤字**

- 資本的収入は、一般会計繰入金の増加等により + 86,129千円(+ 1.5%)
- 資本的支出は、電子カルテ更新に係る企業債償還の開始等により + 481,252千円(+ 6.2%)

(単位：千円)

区 分	令和 8 年度当初予算案	令和 7 年度当初予算	増 減
資本的収入	5,766,624	5,680,495	86,129
企業債	2,663,900	2,758,800	▲94,900
一般会計繰入金	3,099,220	2,921,695	177,525
一般会計借入金	0	0	0
補助金	3,504	0	3,504
資本的支出	8,270,247	7,788,995	481,252
建設改良費	2,901,423	3,417,305	▲515,882
改築整備費	0	561,055	▲561,055
改良工事費	895,206	800,984	94,222
資産購入費	1,889,607	1,931,291	▲41,684
リース資産購入費	116,610	123,975	▲7,365
企業債償還金	5,331,824	4,334,690	997,134
その他	37,000	37,000	0
収支差	▲2,503,623	▲2,108,500	▲395,123

※ 資本的収支の不足額2,503,623千円は、損益勘定留保資金等で補てんする。

1 予算議案

(7) 主な新規・重点事業

新 県立病院DX推進事業

経営管理課 86,517千円
【財源: 自主財源、企業債】

事業の目的

医療現場におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）に係る基盤整備を推進し、医療サービスの質の向上や医療スタッフ等の負担軽減を図る。

事業の概要

1 事業内容

医療現場へ生成AI等を導入する。

① 電子カルテ接続生成AI等導入事業 36,840千円（12,280千円×県立3病院）

生成AIや業務効率化に資するシステム等の導入

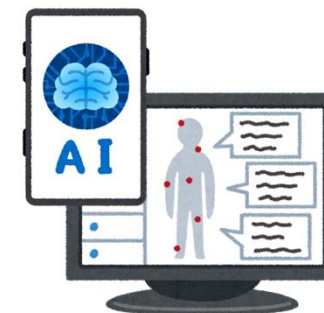
⇒

- ・ 入退院サマリ等の医療文書の作成支援
- ・ 看護記録の自動音声入力
- ・ 各委員会等の議事録作成
- ・ 患者説明（入院時、手術前後等）動画の導入 等

② 同意書ペーパーレス化事業 49,677千円（16,559千円×県立3病院）
患者の署名が必要な「同意書」を紙署名から電子署名へ変更

2 事業効果

- ・ 患者の利便性向上、待機時間の短縮
- ・ 処理の迅速化による医療の質・患者サービスの向上
- ・ 業務効率化による費用節減（時間外労働の短縮、ペーパーレス化等）



事業の期間

令和8年度

新 日南市内の公立病院のあり方検討事業

経営管理課 49,106千円
【財源:自主財源】

事業の目的

日南市と共同で調査等を実施し、日南市内の公立病院の今後のあり方について協議や検証等を行う。

事業の概要

1 事業内容

日南市内の公立病院（県立日南病院・日南市立中部病院）のあり方について調査等を実施する。

【調査の目的】

- ・人口減少・高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化への対応
- ・南海トラフ巨大地震等の災害への対応 等



2 事業効果

県立日南病院と日南市立中部病院の役割分担の明確化及び緊密な連携により、限られた医療資源を効率的に活用することで、日南市における持続可能な地域医療提供体制の確保が図られる。

(参考) 「日南市内の公立病院の医療連携等に係る基本協定」について（令和8年2月12日締結）

【協定内容】

- ① 中部病院の移転を含めた日南市内の公立病院のあり方について協議を行う「**日南市内の公立病院のあり方検討委員会**」の設置
- ② 次期地域医療構想を踏まえた**役割分担と連携強化**
 - ・県立日南病院 ⇒ 急性期拠点機能、地域急性期機能・高齢者救急機能 等
 - ・日南市立中部病院 ⇒ 地域に根ざした診療、回復期リハビリテーション機能、在宅医療等連携機能 等
- ③ **職員の派遣や医療機械の共同利用**などの医療資源の効率的な活用

事業の期間

令和8年度

1 予算議案

(8) 経営改善に向けた取組状況

○：令和6年度からの取組、●：令和7年度からの取組（効果額5.5億円）
 【 】は基準年度と比較した令和12年度の取組効果の見込額

① 収益の確保

○ 令和7年度の見込額（数）と令和5年度実績額（数）の比較

【入院：47.3億円増収、外来：17.6億円増収】

【入院】

病院事業	延入院患者見込数	入院単価見込額	入院収益見込額①	令和12年度目標額②	①－②
合計	6,373名減（▲2.1%）	3,956円増（+5.1%）	6.6億円増（+2.9%）	47.3億円増（+20.7%）	▲40.7億円

【外来】

病院事業	延外来患者見込数	外来単価見込額	外来収益見込額①	令和12年度目標額②	①－②
合計	5,871名減（▲1.7%）	3,996円増（+16.1%）	11.9億円増（+14.1%）	17.6億円増（+20.8%）	▲5.6億円

※令和6年度診療報酬改定率：0.88%（本体）

- 抗がん薬混合調製ロボットの導入【宮崎・延岡病院】（※増収効果は令和8年度以降発現）
 - ・薬剤師病棟業務の充実、DPC係数の向上
 - ⇒ 延岡病院：令和7年11月稼働、宮崎病院：令和8年2月稼働

【2,500万円増収】

② 費用の節減・見直し

【令和7年度の主な取組】

- 医薬品等の共同購入や専門家を活用した価格交渉による費用節減 **対令和5年度 1億 126万円節減** 【2億円節減】
 - 宮崎大学等と連携したSPD（物流管理業務）活用による診療材料費節減 **対令和5年度 1億4,388万円節減** 【2億3,000万円節減】
 - 医療機器等の共同調達による費用節減 **対令和5年度 2,092万円節減** 【4,500万円節減】
 - 臨床検査の外部委託の見直し（令和7年10月から運用開始） **対令和6年度 1,930万円節減** 【3,000万円節減】
- 計 2億8,536万円節減** 【5億 500万円節減】

1 予算議案

③ 各病院の取組

○：令和6年度からの取組、●：令和7年度からの取組（効果額5.5億円）
【 】は基準年度と比較した令和12年度の取組効果の見込額

宮崎病院

【令和7年度の主な取組】

- がん医療機能の高度化（IMRT（高度な放射線治療）の導入 等） **対令和5年度 4,600万円増** 【1億3,000万円 増収】
・令和7年7月 治療開始【IMRT実績 令和7年度見込み:入院 569回・外来 450回実施】
- 高度な最先端医療の提供
・ダ・ヴィンチ手術実績：令和7年度見込み：139件（対前年度+17件）
- DPC係数の更なる向上（※増収効果は令和8年度以降発現） 【1億500万円 増収】
・「DPC標準病院群」からより高い診療報酬を得ることのできる「DPC特定病院群」への昇格に向けた取組強化
・へき地医療拠点病院の指定（令和7年度事業開始）による機能評価係数の向上 等

延岡病院

【令和7年度の主な取組】

- ハイブリッド手術室の運用 **対令和5年度 3億3,000万円増** 【2億6,000万円 増収】
・心臓カテーテル手術・検査件数 令和7年度見込み：235件（対前年度+90件）
- 外来化学療法提供体制の充実 **対令和5年度 1億 800万円増** 【2,300万円 増収】
・外来化学療法延べ件数 令和7年度見込み：3,436件（対前年度▲27件）
- 高度急性期医療の拡充 **対令和6年度 8,200万円増** 【3億1,000万円増収】
・HCU（高度急性期病床）を増床（12床→19床）、一般病床を16床削減（3西病棟：16床→0床）（令和7年10月）
・手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の導入（令和8年2月稼働）

日南病院

【令和7年度の主な取組】

- 病院機能最適化、病棟再編 **対令和5年度 1,400万円節減** 【2億7,000万円 節減】
- 放射線治療装置（リニアック）の稼働停止（令和7年4月から） **対令和6年度 2,100万円節減** 【2,100万円 節減】
- NICU・GCUの規模適正化（GCU（7床）を11月に休床し、年度内に許可病床削減予定） 【6,300万円 節減】
- 公立病院等との機能分化（※増収効果は令和8年度以降発現） 【1,800万円 増収】
・「日南市内の公立病院のあり方検討委員会」の設置（令和8年2月12日 日南市と協定締結）
・次期地域医療構想を踏まえた役割分担の明確化・連携強化 等（日南病院 ⇒ 地域急性期機能、高齢者救急 等）

1 予算議案

(9) 収支計画【令和6年度見直し版（令和7年2月議会提出）】

《事業収支》 (単位：百万円)

区分	決算						収支計画									
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
純損益	▲ 5	▲ 653	1,344	132	▲ 1,174	▲ 4,284	▲ 2,185	▲ 2,891	▲ 2,434	▲ 1,379	▲ 889	▲ 386	55	262	320	217
経常収支	▲ 449	▲ 884	1,028	44	▲ 1,174	▲ 2,530	▲ 2,185	▲ 2,891	▲ 2,464	▲ 1,379	▲ 889	▲ 386	55	260	320	125
《資金収支》 純損益黒字化																
償却前損益	664	316	2,240	1,339	2,101	▲ 250	53	▲ 276	▲ 51	1,225	1,567	1,963	2,179	2,366	2,384	2,230
資本的収支	▲ 1,483	▲ 1,461	▲ 1,776	▲ 1,669	▲ 2,100	▲ 2,502	2,796	▲ 2,089	▲ 2,525	▲ 1,678	▲ 1,893	▲ 1,812	▲ 1,637	▲ 1,754	▲ 1,600	▲ 1,875
資金収支	▲ 820	▲ 1,145	464	▲ 331	2	▲ 2,753	2,848	▲ 2,365	▲ 2,576	▲ 454	▲ 325	151	542	613	784	354
賞与引当金等増減額	17	78	124	▲ 3	▲ 16	216	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	0	0	0	0	0
実質的な資金収支	▲ 473	▲ 737	918	▲ 4	316	▲ 2,207	3,295	▲ 2,035	▲ 2,246	▲ 124	5	151	542	613	784	354
《内部留保資金》 借入金50億円 借入金返済開始2億円/年																
損益勘定留保資金残高	1,417	350	938	604	590	▲ 1,947	▲ 3,981	▲ 6,346	▲ 8,922	▲ 9,375	▲ 9,701	▲ 9,550	▲ 8,808	▲ 7,995	▲ 7,011	▲ 6,457
一般会計借入金残高	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400	4,200
退職給付引当金残高	2,740	3,070	3,400	3,730	4,060	4,390	4,720	5,050	5,380	5,710	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040
損益勘定留保資金等残高	4,157	3,420	4,339	4,335	4,650	2,443	5,739	3,704	1,458	1,335	1,340	1,491	2,032	2,645	3,429	3,783
《現金預金残高》 残高プラスを維持																
現金預金残高	5,240	3,779	2,884	2,277	3,243	2,468	4,536	2,501	255	132	136	287	829	1,442	2,226	2,580
《資本の部》 債務超過転落																
資本合計	6,777	6,124	7,468	7,600	6,426	2,142	▲ 43	▲ 2,934	▲ 5,368	▲ 6,748	▲ 7,637	▲ 8,023	▲ 7,968	▲ 7,706	▲ 7,386	▲ 7,169
未処分利益剰余金	▲ 6,077	▲ 6,730	▲ 5,386	▲ 5,254	▲ 6,428	▲ 10,712	▲ 12,897	▲ 15,788	▲ 18,222	▲ 19,602	▲ 20,491	▲ 20,877	▲ 20,822	▲ 20,560	▲ 20,240	▲ 20,023
《資金不足比率》 資金不足発生なしを維持																
資金不足額（地財法）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資金不足比率（地財法）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※地方財政法：10%以上で起債手続は許可制となり「資金不足等解消計画」策定。健全化法：20%以上で「経営健全化計画」策定（議決事項）。病院毎ではなく病院事業会計全体の値で判定。

《一般会計繰入金》 (単位：百万円)

合計	4,627	4,694	9,256	8,726	8,621	6,879	8,194	8,125	6,996	6,988	6,611	6,330	5,970	5,892	5,875	5,859
繰入金	4,520	4,517	5,081	5,459	5,048	5,734	7,929	7,641	6,836	6,828	6,451	6,170	5,810	5,732	5,715	5,699
補助金	107	177	4,175	3,267	3,573	1,145	265	484	160	160	160	160	160	160	160	160

新型コロナウイルス病床確保料含む

令6補正12億円 令7当初76.4億円

1 予算議案

(10) 収支計画【令和7年度見直し版①】

※令和8年度当初予算案、令和7年度2月補正予算案、経営改善の取組、その他患者数等最新の動向反映

- 令和12年度の純損益黒字転換未達成
- 令和9年度から令和13年度まで現金預金残高がマイナス

《事業収支》																	(単位：百万円)
区分	決算						決算見込		収支計画							黒字転換できず	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
純損益	▲ 5	▲ 653	1,344	132	▲ 1,174	▲ 4,284	▲ 1,962	▲ 2,164	▲ 3,644	▲ 3,603	▲ 2,591	▲ 1,670	▲ 320	85	1,087	1,667	
経常収支	▲ 449	▲ 884	1,028	44	▲ 1,174	▲ 2,530	▲ 1,962	▲ 2,164	▲ 3,644	▲ 3,603	▲ 2,591	▲ 1,670	▲ 320	85	1,087	1,636	
《資金収支》																	黒字確保
償却前損益	664	316	2,240	1,339	2,101	▲ 250	230	256	▲ 1,180	▲ 755	▲ 11	686	1,738	2,259	3,235	3,758	
資本的収支	▲ 1,483	▲ 1,461	▲ 1,776	▲ 1,669	▲ 2,100	▲ 2,502	2,860	▲ 1,951	▲ 2,401	▲ 1,561	▲ 1,702	▲ 1,597	▲ 867	▲ 1,003	▲ 1,054	▲ 1,643	
病院事業債(経営改善推進事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資金収支	▲ 820	▲ 1,145	464	▲ 331	2	▲ 2,753	3,090	▲ 1,695	▲ 3,581	▲ 2,316	▲ 1,713	▲ 911	871	1,256	2,180	2,115	
賞与引当金等増減額	17	78	124	▲ 3	▲ 16	216	96	108	0	0	0	0	0	0	0	0	
退職給付引当金	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	0	0	0	0	0	
実質的な資金収支	▲ 473	▲ 737	918	▲ 4	316	▲ 2,207	3,517	▲ 1,257	▲ 3,251	▲ 1,986	▲ 1,383	▲ 911	871	1,256	2,180	2,115	
《内部留保資金》																	借入金50億円
損益勘定留保資金残高	1,417	350	938	604	590	▲ 1,947	▲ 3,760	▲ 5,347	▲ 8,928	▲ 11,244	▲ 12,957	▲ 13,868	▲ 12,997	▲ 11,741	▲ 9,561	▲ 7,446	
一般会計借入金残高	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
退職給付引当金残高	2,740	3,070	3,400	3,730	4,060	4,390	4,720	5,050	5,380	5,710	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040	
損益勘定留保資金等残高	4,157	3,420	4,339	4,335	4,650	2,443	5,960	4,703	1,452	▲ 534	▲ 1,917	▲ 2,828	▲ 1,957	▲ 701	1,479	3,594	
《現金預金残高》																	現金預金残高マイナス
現金預金残高	5,240	3,779	2,884	2,277	3,243	2,468	4,569	3,312	61	▲ 1,925	▲ 3,308	▲ 4,218	▲ 3,348	▲ 2,092	88	2,204	
《資本の部》																	資金不足額発生
資本合計	6,777	6,124	7,468	7,600	6,426	2,142	180	▲ 1,983	▲ 5,627	▲ 9,231	▲ 11,822	▲ 13,492	▲ 13,812	▲ 13,726	▲ 12,639	▲ 10,972	
未処分利益剰余金	▲ 6,077	▲ 6,730	▲ 5,386	▲ 5,254	▲ 6,428	▲ 10,712	▲ 12,673	▲ 14,837	▲ 18,481	▲ 22,085	▲ 24,675	▲ 26,346	▲ 26,666	▲ 26,580	▲ 25,493	▲ 23,826	
《資金不足比率》																	資金不足額発生
資金不足額(地財法)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,732	3,445	4,355	3,485	2,229	49	0	
資金不足比率(地財法)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	8.7%	10.8%	8.3%	5.2%	0.1%	0.0%	
※地方財政法：10%以上で起債手続は許可制となり「資金不足等解消計画」策定。健全化法：20%以上で「経営健全化計画」策定(議決事項)。病院毎ではなく病院事業会計全体の値で判定。																	
《一般会計繰入金》																	
合計	4,627	4,694	9,256	8,726	8,621	6,879	8,166	9,329	8,241	7,421	7,283	7,348	7,225	6,993	6,751	6,599	
繰入金	4,520	4,517	5,081	5,459	5,048	5,734	7,928	8,738	7,608	7,168	7,030	7,095	6,972	6,740	6,498	6,346	
補助金	107	177	4,175	3,267	3,573	1,145	238	591	633	253	253	253	253	253	253	253	

2月補正11億円

R8当初74.6億円
2月補正繰越1.5億円

R9年度以降60億円台前半まで遞減

1 予算議案

(1) 抜本的対策の実施による収支改善効果

【 】内は令和7年度と比較した令和12年度の改善効果額

【宮崎病院】

- 1病棟削減及び精神科病棟の見直し（病床削減数（50床程度））
- がんセンターの設置による集患強化
- 病理診断体制の一元化・高度化の検討

【延岡病院】

- 稼働率が低い病棟の病床削減（15床）

【日南病院】

- 昨年度の病棟再編（52床削減）の効果を踏まえた更なる病床削減（18床）
- へき地医療拠点病院の指定による機能評価係数の向上
- ※ 日南市立中部病院との連携協定の締結（令和8年2月12日）

【共通】

- DX推進（医療現場への生成AI等の導入）による時間外勤務の削減 **【8,200万円】**
- 看護職員処遇改善評価料を活用した処遇改善の廃止 **【3,800万円】**
- 材料等調達における地域連携の推進 **【3,600万円】**
- 医療機器保守委託の見直し及び一部内製化の推進 **【2,700万円】**
- 料金値上げによる室料差額収益等の確保 **【3,700万円】**
- 不要財産（未活用資産等）の処分 **【2,600万円】**

【4億1,000万円】

**収支改善効果
6.6億円**

【財務基盤の強化】

- 病院事業債（経営改善推進事業）を活用した資金調達（令和8年度：11億円、令和9年度：24億円）

**資金調達額
35億円**

1 予算議案

(12) 病院事業債（経営改善推進事業）について

- ・ 厳しい経営環境に直面する公立病院の資金繰りを支援するため、**新たに創設された資金手当のための地方債**（令和7年度創設）

① 制度概要

対象団体：資金不足が生じている病院事業（見込みを含む）であって、新たに経営改善実行計画を策定し、収支改善に取り組む公立病院

事業期間：令和7年度から令和9年度まで

発行可能額：㊦又は㊧のいずれか小さい額を発行可能

㊦ 当年度又は翌年度に生じる見込みの資金不足額※1（流動負債－流動資産）

㊧ 経営改善の効果額の合計額※2

※1 地方財政法第5条の3第5項に定める資金不足額

※2 収支改善見込額（単年度）×効果継続年数（合計5年）

償還年限：15年以内（うち据置期間：3年以内）

② 道府県立病院の活用状況（令和8年2月本県調べ）

- ・ 地方公営企業法適用の病院を運営する33道府県のうち、約5割が活用を検討

1 予算議案

(13) 収支計画【令和7年度見直し版②】

※【令和7年度見直し版①】に抜本的対策（6.6億円）、病院事業債（経営改善推進事業）反映

- 令和12年度に黒字転換し、一般会計からの借入金の返済開始を維持
- 令和9年度から12年度まで資金不足額は生じるが、病院事業債による資金調達により、9億～21億円余の現金預金残高を確保

《事業収支》																(単位：百万円)
区分	決算						決算見込		収支計画						黒字転換	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
純損益	▲ 5	▲ 653	1,344	132	▲ 1,174	▲ 4,284	▲ 1,962	▲ 2,164	▲ 3,441	▲ 3,246	▲ 2,122	▲ 1,066	309	720	1,729	2,369
経常収支	▲ 449	▲ 884	1,028	44	▲ 1,174	▲ 2,530	▲ 1,962	▲ 2,164	▲ 3,441	▲ 3,246	▲ 2,122	▲ 1,066	309	720	1,729	2,338
《資金収支》																
病院事業債(経営改善推進事業)借入																
黒字確保																
償却前損益	664	316	2,240	1,339	2,101	▲ 250	230	256	▲ 977	▲ 398	458	1,291	2,368	2,894	3,876	4,461
資本的収支	▲ 1,483	▲ 1,461	▲ 1,776	▲ 1,669	▲ 2,100	▲ 2,502	2,860	▲ 1,951	▲ 2,401	▲ 1,561	▲ 1,702	▲ 1,597	▲ 1,159	▲ 1,495	▲ 1,546	▲ 2,135
病院事業債(経営改善推進事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100	2,400	0	0	0	0	0	0
資金収支	▲ 820	▲ 1,145	464	▲ 331	2	▲ 2,753	3,090	▲ 1,695	▲ 2,278	441	▲ 1,244	▲ 306	1,209	1,399	2,330	2,326
賞与引当金等増減額	17	78	124	▲ 3	▲ 16	216	96	108	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	0	0	0	0	0
実質的な資金収支	▲ 473	▲ 737	918	▲ 4	316	▲ 2,207	3,517	▲ 1,257	▲ 1,948	771	▲ 914	▲ 306	1,209	1,399	2,330	2,326
《内部留保資金》																
借入金50億円																
借入金返済(2億円/年)																
損益勘定留保資金残高	1,417	350	938	604	590	▲ 1,947	▲ 3,760	▲ 5,347	▲ 7,625	▲ 7,184	▲ 8,428	▲ 8,734	▲ 7,325	▲ 5,727	▲ 3,197	▲ 671
一般会計借入金残高	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400	4,200
退職給付引当金残高	2,740	3,070	3,400	3,730	4,060	4,390	4,720	5,050	5,380	5,710	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040
損益勘定留保資金等残高	4,157	3,420	4,339	4,335	4,650	2,443	5,960	4,703	2,755	3,526	2,612	2,306	3,515	4,914	7,244	9,569
《現金預金残高》																
9億～21億円余の現金預金残高を確保																
現金預金残高	5,240	3,779	2,884	2,277	3,243	2,468	4,569	3,312	1,364	2,135	1,222	915	2,124	3,523	5,853	8,179
《資本の部》																
資本合計	6,777	6,124	7,468	7,600	6,426	2,142	180	▲ 1,983	▲ 5,424	▲ 8,671	▲ 10,792	▲ 11,858	▲ 11,549	▲ 10,828	▲ 9,099	▲ 6,730
未処分利益剰余金	▲ 6,077	▲ 6,730	▲ 5,386	▲ 5,254	▲ 6,428	▲ 10,712	▲ 12,673	▲ 14,837	▲ 18,278	▲ 21,525	▲ 23,646	▲ 24,712	▲ 24,402	▲ 23,682	▲ 21,953	▲ 19,584
《資金不足比率》																
資金不足額発生																
資金不足額(地財法)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,161	2,405	2,711	1,411	0	0	0
資金不足比率(地財法)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	6.1%	6.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
※地方財政法：10%以上で起債手続は許可制となり「資金不足等解消計画」策定。健全化法：20%以上で「経営健全化計画」策定(議決事項)。病院毎ではなく病院事業会計全体の値で判定。																
《一般会計繰入金》																
合計	4,627	4,694	9,256	8,726	8,621	6,879	8,166	9,329	8,241	7,421	7,283	7,348	7,225	6,993	6,751	6,599
繰入金	4,520	4,517	5,081	5,459	5,048	5,734	7,928	8,738	7,608	7,168	7,030	7,095	6,972	6,740	6,498	6,346
補助金	107	177	4,175	3,267	3,573	1,145	238	591	633	253	253	253	253	253	253	253

2月補正11億円

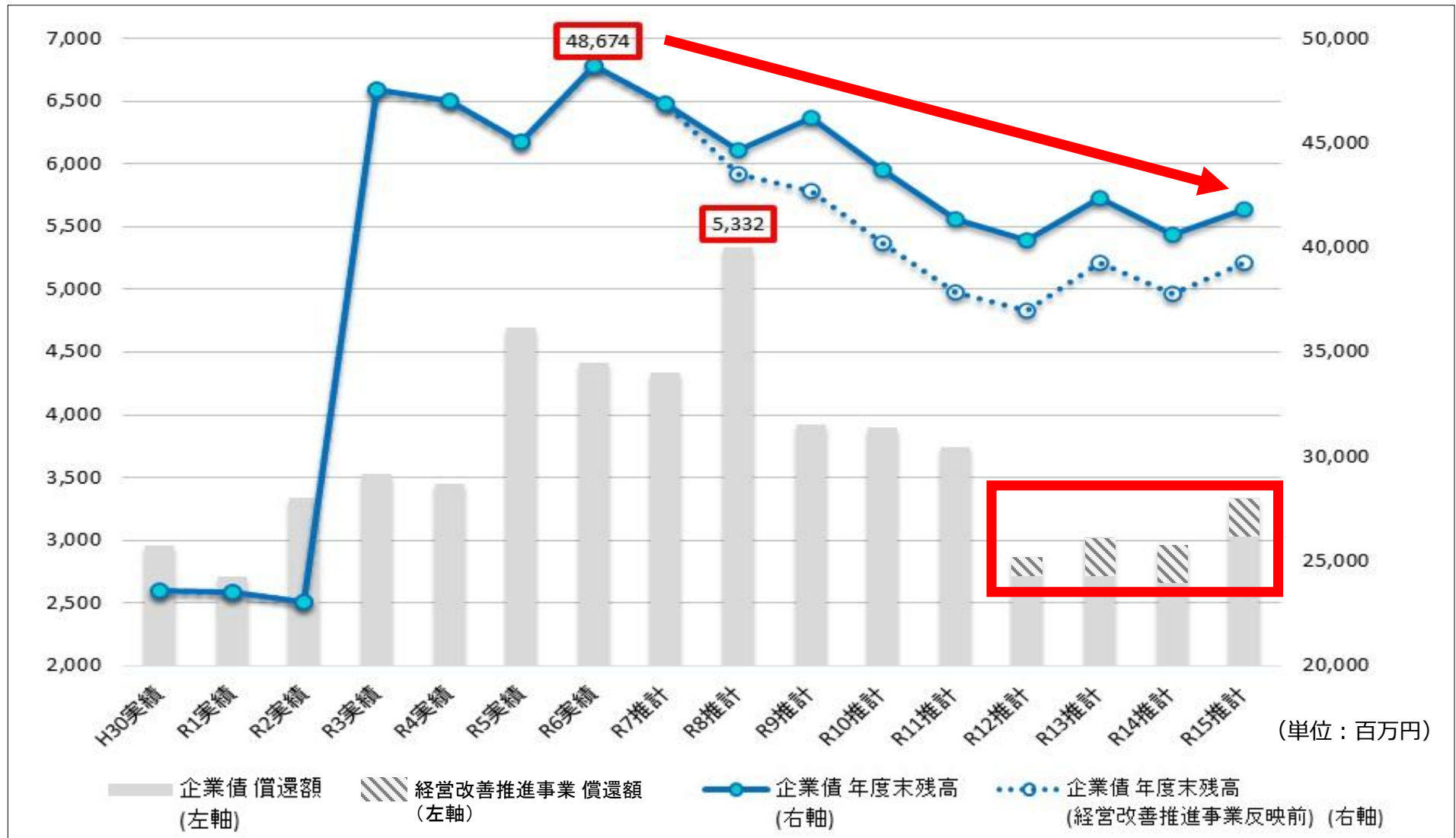
R8当初74.6億円
2月補正繰越1.5億円

R9年度以降60億円台前半まで減

1 予算議案

(14) 企業債残高等の推移 ※ 病院事業債（経営改善推進事業）反映後

- 企業債残高は、令和6年度の486億円余をピークに減少
- 企業債償還額は、令和8年度の53億円余をピークに減少、12年度以降は約30億円で推移



1 予算議案

(15) 決算特別委員会の個別的指摘要望事項に係る対応状況

県立病院について、救急患者へ適切な医療を提供できるよう、救急搬送の受入れ体制の充実に一層努めるとともに、人口減少など将来も見据えた健全な病院経営に取り組むこと。（病院局）

県立病院は、第二次・第三次救急医療施設として、地域の医療機関で対応困難な重篤患者等に24時間365日対応しています。

救急搬送を受け入れた件数を、受入要請のあった件数で割って算出する救急患者の応需率は、昨年12月末時点で宮崎病院が79.2%（対前年度+5.1ポイント）、延岡病院が99.0%（対前年度+0.8ポイント）、日南病院が79.0%（対前年度▲1.4ポイント）となっています。

宮崎病院では、第一次・第二次救急医療施設で対応可能な患者の搬送要請が多いこと、日南病院では、処置できる医師がいない症例で、受け入れが困難となる場合があること等の理由により、延岡病院の応需率との差が生じていることから、救急搬送患者の応需率を上げるため、救急科専門医等の確保に努めるとともに、医師の当直体制の見直しを行うなど、救急搬送の受入れ体制の充実に努めているところです。

また、将来を見据えた健全な経営に向け、今年度、延岡病院において、高度急性期病床の拡充と一般病床の削減、日南病院においては昨年度52床の病床削減を行ったほか、今年度放射線治療装置の稼働停止やGCU（新生児回復室）の休床を実施しました。

今後とも、人口減少・高齢化の進展に伴う医療需要の変化等へ対応するため、次期地域医療構想も見据えながら、病棟再編・病床削減による病院機能・規模の適正化や医療現場のDXを推進するとともに、日南市と共同で日南市内の公立病院のあり方について検討するなど、抜本的な対策を実施し、地域住民に将来にわたり高度で良質な医療を安定的に提供してまいります。